

広報2019

令和元年  
No.902

ちの  
Chino City

8月号



## 特集 茅野市で生産される

【今月の表紙】

表紙の写真は、アルストロメリアです。茅野市で生産された花は大都市へと出荷されています。  
今号では、市花であるリンドウやトルコギキョウなど茅野市で生産されている花々を紹介します。

## 出荷数国内トップクラス

## 高原で育つ

## 茅野の花たち



### 花を育む舞台

#### 色とりどりの花たち

茅野市の市花リンドウをはじめトルコギキョウやキク、アルストロメリアといった花たちを主力に様々な花が茅野市で生産されています。

#### 花の栽培に適した地

茅野市は高冷地のため、昼と夜の気温差が大きい地域です。そんな地域で栽培された花は発色がよく色鮮やかな花が育ちます。

また、花によっては標高の低い地域では栽培が難しいものもあります。この地域でこそ美しく育つ花を生産しています。

そうして育つた花たちは東京・中京・大阪といった大都市へと新鮮な状態を維持して出荷されています。



茅野市を含むJA信州諏訪管内で生産された花は東京、中京、大阪といった大都市へ出荷されています。特にトルコギキョウやカーネーションは国内トップの生産量。

今号ではそんな茅野市で丁寧に着られてらる花の魅力や、花の生産者さんの想いをご紹介します。

〔問〕農林課農政係 ☎72-2101（内線402）

### 美しい花を育てるために

市内では131戸の生産者が花の生産を行っています。見事な花を咲かせるために労力を惜しまず栽培しています。同じ花を育てる生産者同士の部会で集まり、現地指導会や査定会などを毎年開催しています。

### 花を身近に

市民の皆さんには茅野市の花の良さを知ってもらいたいということ以上に、茅野市で生産した花を飾ってほしい、もっと身近に感じてほしいと思っています。

JA信州諏訪直売所では様々な市内の花を売っています。7月末から8月は花の生産の最盛期です。この機会に、茅野市で生産された花を見つけてほしいませんか。



## 年中ずっと花を楽しんでほしい

「夫婦二人でアルストロメリアを主に、他にカスミ草やトルコギキョウの生産をしています。父はリンドウをやっていましたので、そこから引き継いで28年間やってきました。アルストロメリアは1年中楽しめる花です。直売所などに一年中おいてありますので、ぜひ購入して楽しんでほしいと思っています。また、もっと生産者を増やして花で彩られた茅野市になればいいと思います。」

JA信州諏訪

花き専門委員会 副委員長  
アルストロメリア部会 部会長

矢崎 深志さん



## 農業をやるために茅野市へ

「名古屋でIT関係の仕事をしていましたが、元々農業をやってみたくて思っていましたので、茅野市に移住してきました。今は夫婦でキクを育てています。農家という野菜のイメージでしたが話を聞くうちにキクを育てる面白さを知り、キクの農家になりました。私が多くの方から教わって農家になれましたので、同じようにこれから若い農家さんが増えてほしいと思っています。」

市民の皆さんにはキクについてもっと知ってほしいです。全国と比べて、とても品質のいいキクが育つ地域です。気軽に見学へ来てみてください。」

キク農家

鈴木 紘平さん





## 茅野市で生産されている 花のご紹介

ここで紹介している花は、茅野市で生産されている花のほんの一部です。実際に直売所等で茅野市の花を見ていただき、お気に入りの花を飾ってみてはいかがでしょうか。

### トルコギキョウ

出荷時期

7月～11月



白・ピンク・ブルー・黄色など各色あり、実はリンドウ科の植物です。茅野市内で最も生産されている花であり、JA信州諏訪が出荷量日本一の花です。

### リンドウ

出荷時期

7月～10月



茅野市の市花であるリンドウ。JA信州諏訪管内でのオリジナル品種の紫色・白色・ピンク色が中心となります。旧盆・9月彼岸を中心に出荷されています。

### アルストロメリア

出荷時期

周年出荷



ピンク、黄、白を中心とした作付けで、バラエティーに富んだ品種・色目構成で一年中供給されています。長野県が全国で生産量トップの花です。

### キク

出荷時期

6月～10月



輪菊は、黄色・白色・赤色、小菊は赤色・白色中心の作付け構成です。他の地域と比べて色づきが良い花が咲きます。市内ではブライダルにも利用される洋菊の栽培も始まっています。

### 宿根カスミ草

出荷時期

6月～11月



草丈が1m前後に育ち、白い小さな花を沢山咲かせます。茅野市では花形の大きい品種を中心にボリューム感、日持ちを重視した作付けで、長期にわたって供給されています。



### リンドウ産地復活へ奮闘中！

茅野市では、市の花リンドウの復活に取り組んでいます。ピーク時には200人を超えていた生産者の方も、栽培の難しさや高齢化により現在では10分の1まで減少してしまいました。そこで農家の方やJA信州諏訪と協力して優良な苗を供給し、リンドウを後世に伝える活動をしています。

5月27日には、茅野市内の農家でリンドウの苗の配布会を開催しました。今年の配布会で苗を受け取った農家は9戸と、供給を始めた13年度から7戸増えています。今後は新規の農家を増やすための研修も充実させていきます。